

比較家族史学会
会報 比較家族史 71

事務局 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F
(株) 毎日学術フォーラム内 比較家族史学会 ☎ : 03-6267-4550 F A X : 03-6267-4555
E-mail : maf-jscfh@mynavi.jp 郵便振替 00130-4-25222 (名義 比較家族史学会)

2018年 比較家族史学会第64回 秋季研究大会のご案内

(韓国家族学会・比較家族史学会合同会議 2018 KFSA-JSCFH Joint Conference “Intimate Relationships: Korea-Japan Comparative Perspective”)

【日程】2018年10月27日(土) 12:30-18:15

【会場】ソウル大学生活科学大學 (222号館) College of Human Ecology (Building 222) 下記
地図の「I」地区にあり、正門から入って左折した先にある College of Business
Administration の後ろ側)

【参加費】無料

【昼食】午前10時からのソウル大学古文書館 (Kyujanggak、「B」103号館) 見学 (李環媛
委員通訳) に参加された場合は終了後、学内食堂で昼食。

【懇親会】大会終了直後にソウル大学周辺で開催予定。また、大会前日にソウル大学社会学科
社会開発政策研究所主催の夕食会が Hoam Faculty House (「K」125号館) で開催
される予定 (いずれについても詳細は大会出席予定者にメールで連絡)。

【宿泊】Hoam Faculty House の宿泊斡旋期間が過ぎましたので、各自でのご手配をお願い
いたします。

【出欠はがき】同封のはがきにて **9月30日(日)** までにお知らせください (出席予定者はメ
ールアドレスを必ず記入してください)。なお返信はがきには必ず 62円切手を貼っ
て投函してください。

【問い合わせ先】早稲田大学社会科学総合学術院 小島宏研究室 (kojima@waseda.jp)

【後援】ソウル大学

【大会運営委員会】小島宏 (早稲田大学)、落合恵美子 (京都大学)、小池誠 (桃山学院大学)、
牧田勲 (摂南大学)、李環媛 (岡山大学)、賽漢卓娜 (長崎大学)、野辺陽子 (高知
県立大学)

*会場へのアクセス

地下鉄2号線・ソウル大学入口駅3番出口先からバスで15分程度、詳しくは下記をご覧ください。<http://www.useoul.edu/campus/gwanak/shuttles>

ソウル大学 Gwanak キャンパス案内図 (PDF) は下記からダウンロードできます。

<http://www.useoul.edu/campus/maps>

Hoam Faculty House へのアクセスについては上記のほか、下記もご覧ください。

http://www.hoam.ac.kr/eng/hoamHotel/contact_us.php

【合同会議プログラム】

12:30 – 1:00 PM	On-Site Registration
1:00 – 1:15 PM	Opening Remarks (English) <ul style="list-style-type: none"> - Emiko OCHIAI (President of JSCFH, Kyoto University) - Geon Soo HAN (President of KFSA, Kangwon National University)
1:15 – 3:30 PM	<p>KFSA-JSCFH Joint Session 1 (English)</p> <ul style="list-style-type: none"> - Presider: Makoto KOIKE (Vice President of JSCFH, St. Andrew's University) <p>1. Marriage in Crisis in Japan:</p> <p>Decline of Real Love and Rise of Virtual Love</p> <ul style="list-style-type: none"> - Presenter: Masahiro YAMADA (Vice President of JSCFH, Chuo University) - Discussant: Seung-Eun CHA (University of Suwon) <p>2. Familial Liberalism and South Korean Society:</p> <p>Micro Political Economy of Social Reproduction Crisis</p> <ul style="list-style-type: none"> - Presenter: Kyung-Sup CHANG (Seoul National University) - Discussant: Hiroshi KOJIMA (Waseda University) <p>3. Hybridity of Parenthood in Late Modernity: A New Perspective for Analyzing Parenthood in Contemporary Japan</p> <ul style="list-style-type: none"> - Presenter: Yoko NOBE (University of Kochi) - Discussant: Eunsuk CHO (Sangmyung University) <p>4. Borderline between Overdependence and Mutual Dependence: Coresidence of Ever-Single Adult Children and Their Parents in Korea</p> <ul style="list-style-type: none"> - Presenters: Saeun CHOI (Korea National University of Education), Younshil CHOI (Sangmyung University),

	<p>Miai SUNG (Korea National Open University), and Jaerim LEE (Seoul National University)</p> <ul style="list-style-type: none"> - Discussant: Rokuro TABUCHI (Sophia University) <p>KFSA Session 1 (Korean)</p> <ul style="list-style-type: none"> - Presider: TBA
3:30 – 3:45 PM	Break
3:45 – 6:00 PM	<p>KFSA-JSCFH Joint Session 2 (English)</p> <ul style="list-style-type: none"> - Presider: Ki-Seon CHUNG (Vice President of KFSA, IOM Migration Research and Training Centre) <p>1. Fantasy and Agony of International Marriage: Stories of Korean Men</p> <ul style="list-style-type: none"> - Presenter: Geon Soo HAN (Kangwon National University) - Discussant: Chiyo YONEMURA (Chiba University) <p>2. Reorganization of Network and Immigrant Intimate Spaces across Life Span: Family, Kinship and Shima Community of South-West Islands in Japan</p> <ul style="list-style-type: none"> - Presenter: Hiroki OKADA (Kobe University) - Discussant: Sumi CHO (Myongji University) <p>3. International Marriages between Japanese Men and Chinese Women</p> <ul style="list-style-type: none"> - Presenter: SAIHANJUNA (Nagasaki University) - Discussant: Grace CHUNG (Seoul National University) <p>4. Migrant Family Businesses for Empowering Immigrants and Social Integration</p> <ul style="list-style-type: none"> - Presenter: Juyoung JANG (IOM Migration Research and Training Centre) - Discussant: Makoto KOIKE <p>KFSA Session 2 (Korean)</p> <ul style="list-style-type: none"> - Presider: TBA
6:00 – 6:15 PM	Closing Remarks (English)

委員会報告

【庶務委員会】

(1) 会員情報の変更

会員情報の変更がありました場合には、学会事務局までご連絡ください。所属・住所などの変更のほかに、65歳以上の会員で特別会員を希望する場合、10年以上継続して会員であり、終身会員を希望する場合にもご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

また、学会の案内をメールにて行っていますが、不達のメールが多くあります。メールアドレスを変更された場合にも、学会事務局までご連絡ください。

(2) 会費納入

本学会は、学会費によって維持されていますが、学会費が未納状態になっておられる会員が多くおられます。先日、学会費の未納の会員に対して会費振込用紙を送付させていただきました。是非とも学会費を納入していただくようお願い申し上げます。会員資格によって学会費が変更されますので、変更がありましたら必ず学会事務局までご連絡ください。

【企画委員会】

2019年春季研究大会は、6月15日(土)・16日(日)にお茶の水大学で開催をします。小谷眞男理事が会場運営を担当し、シンポジウムのテーマは「世代関係」で、施利平先生(明治大学)・小池副会長を中心として企画が進んでいます。

理事会議事抄録

理事会が、2018年6月15日(金)春季研究大会にあわせて、岡山大学で開催された。

1.平成29年度決算について

原案の通り、承認されたが、以下の点について検討した。

- ①平成29年度の会費納入率が低かったために、未納者に対して、振込用紙を会報に同封せずに郵送することとした。
- ②入会希望者が、入会承認されていなかった。事務局・庶務委員会が入れ替わったことも原因と考えられる。昨年度から入会者に対して、承認が得られた旨の通知をするとともに、毎月入会希望者を連絡してもらっている。今後再発をしないように、一層留意する。
- ③著作権料については、2018年度からは配分されないとの通知があった。
- ④2016年度予算では、シリーズ出版に関する出版助成が一般会計になっていたが、特別会

計として変更した。1巻・2巻が出版されたために、献本用の買い上げが生じたために、決算額が予算額よりも8万円程度オーバーした。

- ⑤会計年度が4月1日～3月31日であるので、年度内の日付の請求書であってもこれまで通りに「未払金」とすることを確認した。
- ⑥収入について、「経常収入」と「臨時収入」に分類することとする。また、出版助成など特別会計によって行った事業収入については、特別会計に組み入れることとする。
- ⑦昨秋の理事会にて、書評用の献本も含めて1巻20万円分買い上げることとなっているが、今後の出版も考えて、落合会長・小池副会長が出版社と話し合いを持つ。
- ⑧現在のシリーズ出版は5巻まで日本経済評論社が担当するが、その後どうするか、出版を継続する時に出版助成の形をとるのかを検討する。
- ⑨学会専用の封筒を印刷については、毎日学術フォーラムでの保管料がかさむため、印刷はしない。

2.平成30年度予算について

理事会で承認を得たので、総会に提案することとなった。

- ①大会運営費は、秋季研究大会が海外で行われるため、増額した。ただし、小島理事が昨年の春季研究大会の運営費と他の収入を合わせて14万円程度を寄付していただいたので、それを運営費として当てることとなった。

3.庶務委員会

①理事の辞任・追加

- ・理事会にて承認されている野邊陽子会員を非理事として渉外委員としたことにつき総会にて報告する。
- ・若尾典子理事から体調不良を理由に理事の辞任の申し出があり、承認した。

②元会長・副会長・理事の逝去について

- ・学会から元会長については「花輪」、元副会長・理事については「弔電」を送る。元会長については年報に追悼文を掲載する。葬儀等が終わってから知った場合には、「弔電」ではなく、訃報を掲載した会報を遺族に郵送する。

③企画委員長代理

牧田副委員長が委員長代理を務め、小池副会長がサポートをすることとなった。

④会員退会

会員1名から退会の申し出があり、承認した。

4.企画委員会・渉外委員会

①研究大会について

- ・2018年春季研究大会（岡山大学）について、李委員を中心に準備を進めている。
- ・2018年秋季研究大会（ソウル大学）について小島委員を中心に準備を進めている。日本側の報告者、討論者、司会などが決定した。韓国側の報告者もほぼ決まった。

開催費用・懇親会・日本側の参加費などについて検討され、韓国側との調整を行う。

- ・2019年春季研究大会（お茶の水大学）は小谷眞男理事が担当し、「世代関係」シンポジウムは施利平先生・小池副会長を中心に企画が進んでいる。

②出版計画について

- ・シリーズ第2巻は売れ行きが良く、3巻についても販売促進の広告を出す予定である。
- ・第3巻については、年内刊行の予定である。

5.編集委員会

①『比較家族史研究』について

32号が刊行され、33号の特集は2017年秋季大会のミニシンポを掲載する予定である。

②ダークアーカイブでの公開について

JST掲載論文を portico で公開する。

③その他

- ・年報バックナンバー（創刊号～23号）を学会HPで公開するために、委員会で検討中である。

5.その他

秋季研究大会が10月にソウルで開催されるために、11月に理事会を開催することとなった。

訃報

本学会の元会長の井ヶ田良治先生、元理事の稲本洋之助先生、藤井正雄先生が逝去されました。本学会の発展にご尽力いただきました。心よりご冥福をお祈りいたします。